

6.外貨両替機のマネロン対策(安全基準)を実施します。

2018年10月26日、全国両替商防犯連絡会JESC(Japan Exchangers Safety Council)主催の外貨両替に関するマネロン対策セミナー及び意見交換会が開催されました。

出席者は全国の金融機関、外貨両替商、観光事業者、他の皆様です。その中で、自動外貨両替機におけるマネロン対策の機能として次の3点が採択されました。

1. 「高額取引監視機能」(本人確認対応)
例として、9万円以上の取引が連続する場合、自動的に遠隔管理者に通報し、管理者において任意の回数で停止させる機能。
2. 「任意金額強制停止機能」(外国PEPs対応)
例として、当日の両替金額がトータルで190万円を超えると理者によらず自動的に停止する機能。
3. 「オンサイト安全確認」
停止後の再稼働について、運用上の指針として管理者または関係者が現地(現場)に赴いて目視による安全確認後に実施。

以上の3点が外貨両替機におけるマネロン対策の基本安全基準として確認されました。機能の詳細仕様は日本CDRに問い合わせが可能です。外貨両替機の運営事業者においてはメーカーあるいは販社会社に本機能の有無、実装の可否をお問い合わせいただきたいと存じます。

またセミナーでは実施時期について、来年秋に行われるFATF対日査察までに対応するのが望ましいとする指針が確認されました。

JESC 一般社団法人全国両替商防犯連絡会
Japan Exchangers Safety Council

第一回セミナー開催報告

外貨両替窓口における「安全対策・マネロン対策セミナー」



2018年10月26日、A-PLACE新橋駅前において第1回目のJESCセミナー開催されました。

今回のテーマは外貨両替窓口における「安全対策・マネロン対策セミナー」で、講師としては財務省国際局 調査課 為替実査室 日向室長様にはマネロン対策について、JESC代表理事で偽造通貨対策研究所所長を務める遠藤智彦氏には安全対策について講義をいただきました。



財務省国際局
マネロン対策



偽造通貨対策研究所
外貨両替の安全対策

第1回目のセミナーにもかかわらず、参加受講者は74名様に上り、金融機関、商業施設、ホテル、鉄道会社そして全国の両替商の皆様が参加され、講演及び質疑応答時間もややオーバーするほど、講師・受講者とも非常に熱の入ったセミナーになりました。

1997年の外為(両替)自由化以降、業として両替商を営む方が増えたにもかかわらず、皆さんが一堂に集い、外貨両替に関する意見交換や勉強の場が今までなかったこともあり、事務局としてはJESC設立の意義と今後のセミナー開催について使命感と手応えを感じています。